

2 これまでのみちづくりの実績

(1) 前計画(R2)のふりかえり

前計画では、みちづくりの方向性として「3つのビジョン」を掲げ、ビジョン毎に施策を設定し、取り組みを進めてきました。

みちづくりの方向性(前計画)

コンセプト『魅力的で持続可能なみちづくり』

ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくり

【みちづくりの方向性】

- ①都市の発展や企業の物流振興を支え、国際競争力のある物流拠点都市の形成を図ります。
- ②空港や港湾等の物流拠点や各都市間のアクセスを強化し、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流を確保・活性化するため、広域道路ネットワークの整備を進めます。
- ③小倉都心や黒崎副都心等のまちなかに活力を与える市街地の道路整備を進めます。
- ④市内の主要渋滞箇所を改善し、交通の円滑化を図ります。

ビジョン2 安全・安心で住みよいまちを支えるみちづくり

【みちづくりの方向性】

- ①誰もが安全・安心に通行できるみちづくりを進めます。
- ②道路の維持管理や道路施設の長寿命化、無電柱化により交通環境の改善を図るとともに、災害に強いみちづくりを進めます。
- ③安全で快適な自転車利用環境の整備を進めます。

ビジョン3 魅力あふれるまちを支えるみちづくり

【みちづくりの方向性】

- ①交通結節機能の強化により公共交通の利便性を高めるとともに、コンパクトなまちづくりを進めます。
- ②道路空間を活用し、市内外の人でにぎわう、人中心のみちづくりを進めます。
- ③魅力ある道路景観の創出と沿道環境に配慮したみちづくりを進めます。
- ④地域住民が道路に愛着を持って取り組む活動を応援します。

(2)これまでのみちづくりの主な実績(令和元年度～令和5年度)

ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくり

都市の発展や物流振興を支えるみちづくり、小倉都心や黒崎副都心等の都市の発展や賑わいを創出するためのみちづくりを行いました。

●都市の強靱化に資する重要物流道路をはじめとした、物流・人流を支える広域道路ネットワークの構築

- ・国道3号黒崎バイパス
- ・(都)戸畑枝光線
- ・恒見朽網線(曾根新田工区)
- ・(都)砂津長浜線(4号線含む)
- ・国道211号(第1工区)



国道3号黒崎バイパス(八幡東区)



恒見朽網線(小倉南区)

●都心や副都心等に活力を与える市街地の道路整備

【小倉都心地区】

- ・(都)砂津長浜線

【黒崎副都心地区】

- ・(都)城山西線、(都)中央町穴生線

【折尾駅周辺地区】

- ・(都)日吉台光明線
- ・(都)折尾青葉台線 等



(都)砂津長浜線(小倉北区)



(都)中央町穴生線(八幡西区)

●交差点における渋滞対策【渋滞対策の事例】



整備前



整備後

清水交差点の整備前・整備後の状況

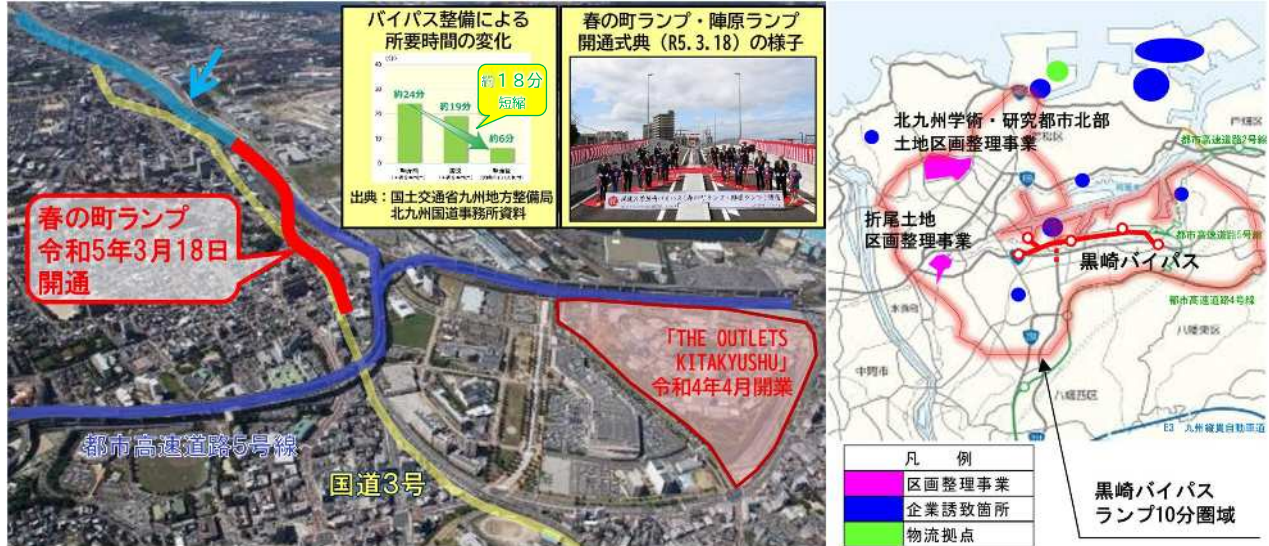


▲主な事業箇所図(令和元年度～令和5年度)

<ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくりによる主な整備効果>

道路整備に伴い企業や住宅などが立地し、生産性の向上や居住人口の増加、雇用などの効果が現れています。

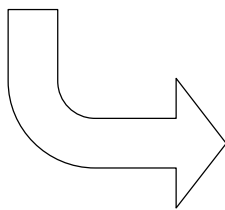
■国道3号黒崎バイパスのストック効果



航空写真(昭和53年)



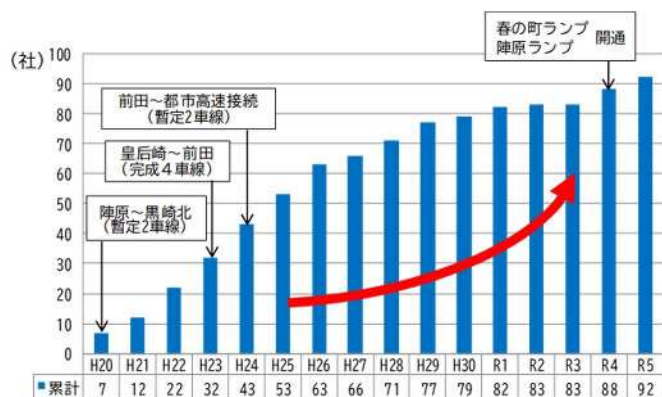
航空写真(令和5年)



凡例				
	業種	H19	R5	増加数 (R5-H19)
第一次産業	鉱業・採石業・砂利採取業	1	1	0
	建設業	1	2	1
	製造業	3	4	1
第三次産業	情報通信業	11	14	3
	卸売業、小売業	8	19	11
	学術研究、専門・技術サービス業	2	2	0
	生活関連サービス業、娯楽業	6	5	-1
	その他	12	34	22
合計		44	81	37

<企業の立地状況>

平成20年度の暫定供用後、黒崎バイパス沿線で92社の企業が進出しています。全線供用で更なる企業進出が期待されます。



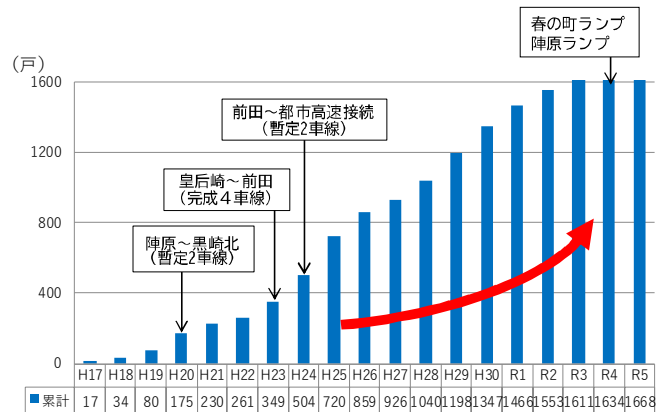
▲企業の立地状況



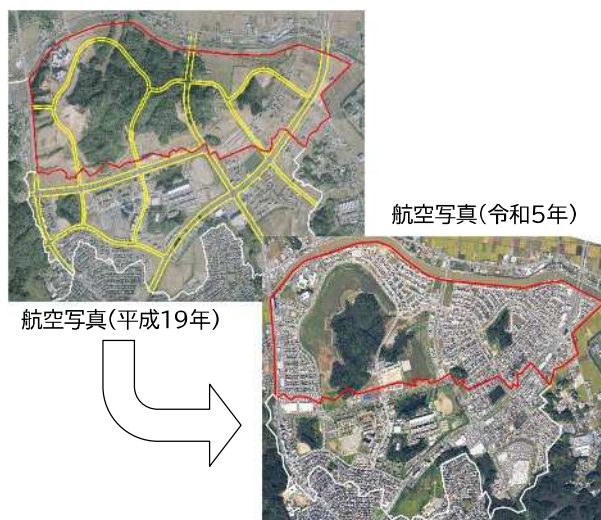
▲THE OUTLETS KITAKYUSHU (令和4年4月 オープン)

<北九州学術・研究都市北部土地区画整理区域 居住状況>

平成20年度の暫定供用後、分譲が急速に進み、1,668戸が建築されています。

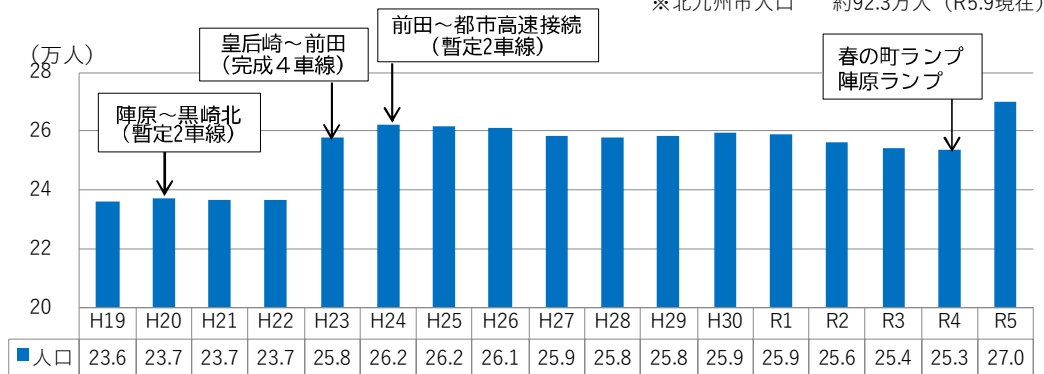


▲住宅の居住状況



<黒崎バイパス供用ランプ10分圏域カバー人口の推移>

平成20年度の暫定供用後、約3割の市民が黒崎バイパスのランプまでアクセス可能となりました。



▲黒崎バイパス供用ランプ10分圏域カバー人口